

## 特集－広島県総合グランド

広島市西区に位置する広島県総合グランドは陸上競技場、野球場、ラグビー場を有する総合スポーツ施設である。県民がいつでも誰でも利用できる身近な施設として、広島県のスポーツ振興に貢献し続けてきた。

# Our HOME GROUND



 広島総合グランド

### 鹿島建物管理概要

管理開始 2016年4月  
管理内容 設備管理業務、清掃業務、警備業務  
管轄 中中国支社

### 建築概要

施設名称 広島県総合グランド  
所在地 広島県広島市西区観音新町2丁目11-124  
主要用途 スポーツ施設  
設計 株式会社 KA-MI 建築設計事務所  
面積 敷地面積 920,429.52m<sup>2</sup>  
延床面積 6,800.91m<sup>2</sup>  
構造 RC造

### 主要設備概要

電気設備 高圧 6.6kV  
設備容量 1,795kVA  
非常用発電機 150kVA × 1台  
空調設備 空冷ヒートポンプ/パッケージエアコン  
吸式冷温水機  
ファンコイルユニット  
衛生設備 ガス給湯器ユニット



## 広島県民の体力向上をめざして

1938年、厚生労働省(当時の厚生省)が国民の体力向上を目的に、全国10カ所に総合運動場を建設する計画を公表した。当時“スポーツ県”といわれながらも施設が不十分であった広島県は、これに名乗りを上げて誘致に成功し、1941年「総合体練場」の名称で現在の広島県総合グランドが完成した。陸上競技場、野球場のほか庭球場、相撲場、弓道場を備え、当時は「西日本一」と呼ばれる規模であった。同年12月7日の竣工祭は広島市内の学生を中心に2万人以上を集め盛大に行われたが、翌8日から日本は太平洋戦争に突入し、終戦まで軍の資材置き場として使用されることになった。

## スポーツで復興を

広島県総合グランドは被災を免れ、終戦後まもなく運動場として再開した。4カ月後の12月にはラグビーの試合が行われたと記録されている。また、1950年には復興のシンボルとなった広島カープが誕生し、7年間広島県総合グランドの野球場を本拠地としていた。原爆による壊滅的な被害を受けた広島の人々の復興に対する前向きな気持ちを後押ししたのがスポーツだった。広島県総合グランドはスポーツを楽しむ“場”的提供を通じて県民に勇気や希望を与える役割を担ってきた。



広島商業高校野球部OBの宝来孝志さん。  
「私が生まれる少し前にこの野球場ができました。当時と変わらぬ姿を懐かしく思い、定期的に野球部の練習を見に行きます」



創立記念の石碑。「廣島総合體練場」の文字がみえる



# Sports Opportunities for Everyone

誰もに開かれたスポーツ施設として

より多くのスポーツの機会を

広島県総合グランドには、平日休日問わず多くの県民が訪れる。平日、日中は未就学児童のスポーツクラブの練習やシニアのグランドゴルフで賑わい、夕方からはおもに中高生の部活動や地域のスポーツチームの練習に利用される。個人利用料金は、2時間数十円に設定され、気軽に本格的な施設で練習ができる。

「陸上競技場と野球場は部活動での利用が多いですね。学校のグランドには限りがあるため、練習がしたくてもできない日もある。そんなときに重宝いただいているようです。多いときは陸上競技場を100人ほどが利用し、トラックとフィールドが学生でいっぱいになることもありますよ」と指定管理者の前岡所長は話す。休日には練習試合や公式戦の予選、スポーツイベントなどが開催されている。

「当施設の陸上競技場は第二種公認陸上競技場ですから、国際大会や日本選手権などは行われませんが、その分、県民のホームグラウンドとして、より多くのスポーツの機会を与えられる存在でありたいと思っています」



正門にはその日の行事予定が手書きで記載されている



# TALK TO 対談 TALK

## 誰もが気持ちよくスポーツのできる環境を

広島県総合グランドは広島県が所有し、2016年4月からセイカスポーツセンター、西尾園芸、鹿島建物の3社共同体が指定管理者として運営管理を行っている。



写真左より  
株式会社セイカスポーツセンター  
広島県総合グランド  
所長 前岡 優助 様  
  
株式会社西尾園芸  
常務 西尾 紀彦 様  
  
鹿島建物総合管理株式会社  
中国支社  
大村 祐一

## ノウハウを結集させて施設に付加価値を与える



**前岡様** 私たちは、指定管理者として、この施設の価値を高めていくことを期待されています。県にとって価値の高い施設とするためには、収益性のみを追求するのではなく、長年施設が担ってきた使命をこれまで以上にしっかりと果たしていくことが重要です。



**西尾様** 広島県総合グランドの場合、県民の方にとって身近なスポーツ施設として、健康増進やスポーツ振興に貢献していくことが使命だといえますね。西尾園芸では、歩いたり走ったりして気持ちいい環境づくりを意識して敷地内の植栽管理を行っています。



**前岡様** 快適な環境づくりにおいては、鹿島建物さんの設備管理も不可欠です。

**大村** 長寿命の施設で設備の老朽化も進んでいるため、毎朝の点検だけではなく、利用の多い陸上競技場などは一日に何度か巡回するようにしています。

**大村** 敷地内にはウォーキングコースがありますが、樹木がいつも美しく、気持ちのいいコースが保たれていますよね。実際に、散歩がてらに立ち寄ってくださる方もよくお見掛けします。

**西尾様** 昨年9月に町内会と共同開催した夏祭りは、1,500人以上が来場し大盛況でしたね。スポーツ体験イベントやダンスパフォーマンスなど、幅広い世代の方が楽しめるプログラムで、スポーツスクール事業を展開されているセイカスポーツセンターさんならではの企画だと感じました。

**前岡様** 当社は“楽しい健康づくりのお手伝い”を理念としていますので、参加している方々が楽しそうに運動している姿をみることが一番のやりがいです。スポーツ体験は競技場の芝生を開放して小学生のサッカー大会やラグビー交流大会を行いましたが、天然芝の上で身体を動かす気持ちよさを感じただけたと思います。西尾園芸さんが丁寧に芝生の管理をしてくださっているおかげです。

**西尾様** スポーツ施設の芝は、プレーのしやすさや選手の安全にも関わりますので、繊細な管理が求められます。季節によってコンディションが変わるために、その日の状態をよくみて最善のメンテナンスを行っています。

**前岡様** 夏祭りでは施設内に出店を設けたことで、普段スポーツに縁のない方にもお立ち寄りいただきました。出店の準備にあたっては電源の確保など鹿島建物さんにフォローいただき大変助かりました。



**大村** 設営時やイベントの開催中も何かあったときにすぐに駆けつけられるようにと気を張っていましたが、何事もなく終わってホッとしました。今年の夏祭りも3社の力を合わせて、昨年以上の盛り上がりをめざしたいですね。



写真上：広島県総合グランドは毎年約1万5千人が参加するひろしま国際平和マラソンのスタート・ゴール地点になっている  
写真下左：メインスタジアムの倉庫にある台車の点検。用具や客席の点検もセイカスポーツセンターと協力して行う  
写真下右：ガーデントラクターを用いて草の長さを均等に保つ

## いつまでも利用できる施設をめざして

**西尾様** 施設のご利用者様はスポーツをされる方なので、必要性を理解してしっかり守ってくださっている印象です。

**前岡様** 今後はご利用者様からのご意見を管理運営にフィードバックしながら、より身近な施設となることをめざしていきます。西尾園芸さん、鹿島建物さん、引き続き快適にスポーツのできる環境づくりをよろしくお願ひいたします。



電気室では毎日欠かさず電流・電圧の点検を行う

# スポーツ施設にふさわしい 誠実な管理を

138 ガス・ポンベ室



スポーツ施設を管理するものとして、日々の挨拶から、点検や修繕などの業務一つひとつに誠実に取り組もうと心掛けています。  
学生さんをはじめ、遠くにいても大きな声で挨拶してくれる方が多く、とても身の引き締まる環境です。